

令和7年度町民活動推進補助金事業採択結果

No	申請団体		申請事業名	事業計画	補助希望額 (円)	大磯町補助金等評価委員会の評価			
	団体名	代表者				評価点 (平均)	補助額	補助率	査定額 (円)
1	ひとり	小柴 舞子	地域にひらいた、 日中のこどもの居 場所づくり事業	【事業目的】 学校に行きにくい子どもや、地域とかかわりが薄く行き場所がない子どもが安心して過 ごせ、様々なことに挑戦できる居場所を提供することで、健全な子どもの成長をサポートす る。 【事業計画】 ■令和6年度【団体設立1年目】 4月団体設立、コミュニティスペースサッホーにおいて週 3回開室、日々ようすをSNS等でも発信、周知する。貧困対策として、こどもには無料で 食事を提供できる仕組みを作る。 民生委員との情報共有を通し、場を必要とする家庭に少しでも多く利用してもらえるよう 声掛けする。他地域の同種団体との交流の機会を設ける。町内の遊休地活用を目的とした活 動に参加する。 ■令和7年度【2年目】 後半から活動日を週4回に増やし、上記活動を継続。コミュニティ カフェ試験運用開始。 ■令和8年度【3年目】 上記活動を継続しながら、実績をもとに町の教育機関や団体などの 連携を通じ、持続可能な運営を目指していく。 ■令和9年度【4年目】 上記活動を継続する。	110,000	30.8	満額補助	—	110,000
2	Lopo (Life of Photography Oiso)	小柴 尊昭	地域と人、人と人 をつなぐ、大磯写 真プロジェクト	【事業目的】 人・自然・文化などに代表される大磯の優れた資産を、大磯に在住・活動する写真芸術家 たちが表現・発信。 大磯という地域の人や暮らしの魅力を伝えながら、大磯に住まう人々のつながりづく りを行う。 【事業計画】 大磯の写真家とクリエイターたちにより、大磯の人や暮らしをテーマとした写真作品のプ ロジェクトOISO LIFE SOTORIESの制作・発表および関連したプログラムの実践や、編集ブック の展開を行う。 ・年間20名程度の大磯人への取材とストーリーコンテンツの執筆 ・年間2回のフォトセッションの実施（大磯図書館を想定） ・年間1回の展覧会の開催（大磯図書館ないしは大磯SALOを想定） ・希望するギャラリーや施設での展示物の貸し出し巡回（公共施設・教育施設・民間施設 を想定） ・OISO LIFE SOTORIES出演者が登場する学びのプログラム（自主開催＋要望のある教育団 体等）	200,000	28.6	満額補助	—	200,000
3	大磯遺構調査団	畠山 順次	文化財調査・保全 事業	【事業目的】 戦後80年を機に、町内に散在する戦時下の地下壕を悉皆調査するとともに、地下壕に改造 された古墳時代の横穴墓も併せて調査し、文化財の保護・保全に供する。 【事業計画】 ■令和7年度 前半はチラシを作り、活動参加者の募集をする。また、既に判明している地下 壕や横穴墓について、地図上にプロットし、大きくブロック分けしながら、調査方法など を検討し、後半は、必要な簡易測量物品の購入と実際の踏査を開始する。主に、実測図作成 と写真撮影。 ■令和8年度 前半は前年度調査の整理を行い、後半は踏査を継続する。 ■令和9年度 前半は前年度調査の整理を行い、後半は踏査を継続する。 ■令和10年度 3年間調査のまとめを行い、その成果を印刷し公表する。	100,000	22.4	—	—	0
4	トコトコ	白砂 有里 子	障害の有無にかか わらず安心して暮 らせる居場所づく り	【事業目的】 障害のある方が住み慣れた地域で安心して過ごせるために、居場所づくりや情報交換・交 流・情報発信をしていく。 【事業計画】 ■令和7年度【1年目】 ・居場所づくりとなるイベントを実施 ・チラシやSNSなどで情報発信をする ■令和8年度【2年目】 ・ヘルプマークグッズを作成し、周囲の方への情報発信 ・勉強会、情報交換の場を開催する ニーズの把握 ■令和9年度【3年目】 ・居場所活動を4か月に1回など定期的に行う ・勉強会実施 外部講師など	54,000	27.0	満額補助	—	54,000
5	みずべぐらしプ ロジェクト	長谷部 駿	みずべぐらしプロ ジェクト	【事業目的】 本事業は、大磯町において地域のつながりや自然とのふれあいが希薄になりつつある現状 を受け、町内の水辺空間を活用した「みずべぐらし」の実践と普及を通じて、人と人、人と 自然、人と地域がゆるやかにつながる場を育むことを目的とする。不動川河口をはじめとし た身近な水辺を、イベントにとどまらず日常的に立ち寄れる「居場所」として活用すること で、地域住民の交流促進や、多世代・多様な人々の参加を促すコミュニティの形成を目指 す。また、地域外からの移住者や関心層にとっても、地域に親しむきっかけとなる場を創出 する。 【事業計画】 ■令和6年度【団体設立1年目】（事業報告） ・発信活動として、大磯市にPRブースを出店（4月～10月） ・初めて参加する方向けのイベントとして、『SUP体験会』を計13回開催し、計68名の方 に参加していただいた。 ・リピーターの方に向けたイベント『Weekends SUP』、『水辺で焚き火』、『水辺クリー ン』を計11回開催し、計65名の方に参加していただいた。 ・不動川河口ほとりの空き家を借り入れ、改修し、水辺の拠点づくりを開始（2024年10月 ～） ■令和7年度【団体設立2年目】 ・より頻度を上げ、継続的にイベントを開催 SUP体験会：月に6回開催（4月～10月）、週末みずべぐらし：月に3回開催（通年） ・水辺の拠点完成 ■令和8年度【団体設立3年目】 ・より頻度を上げ、継続的にイベントを開催 SUP体験会：月に8回開催（4月～10月）、週末みずべぐらし：月に4回開催（通年） ■令和9年度【団体設立4年目】 ・継続的にイベントを開催 SUP体験会：月に8回開催（4月～10月）、週末みずべぐらし：月に4回開催（通年）	250,000	24.8	満額補助	—	250,000
					714,000	—	—	—	614,000